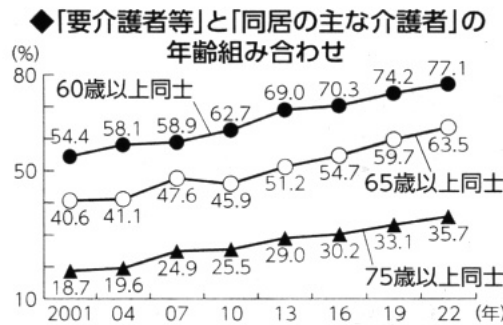
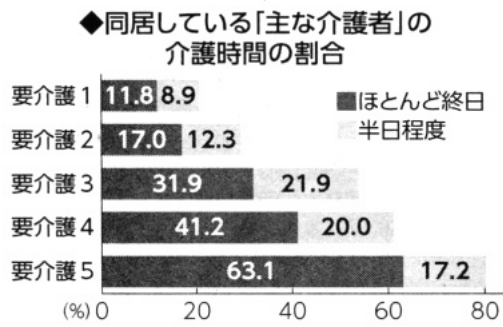


「老老介護」6割超す

国民生活基礎調査 過去最高

厚生労働省が7月に発表した「国民生活基礎調査」では、「老老介護」の割合が過去最高となるなど、介護を担う家族の負担が極限まで重くなっていることが浮き彫りになっていきます。介護の社会化をうたって始まった介護保険制度が十分に機能せず、家族に重い負担を課す状況が強まっています。

女性に負担が集中



女性が占め、介護が女性の負担となつていくことを改めて裏付けています。介護時間は要介護度が重くなるほど長くなり、要介護3以上では「ほとんど終日」との回答が最多となり、要介護4で4割超、要介護5で6割超に達します。

健康や心に影響

長時間の介護が介護者

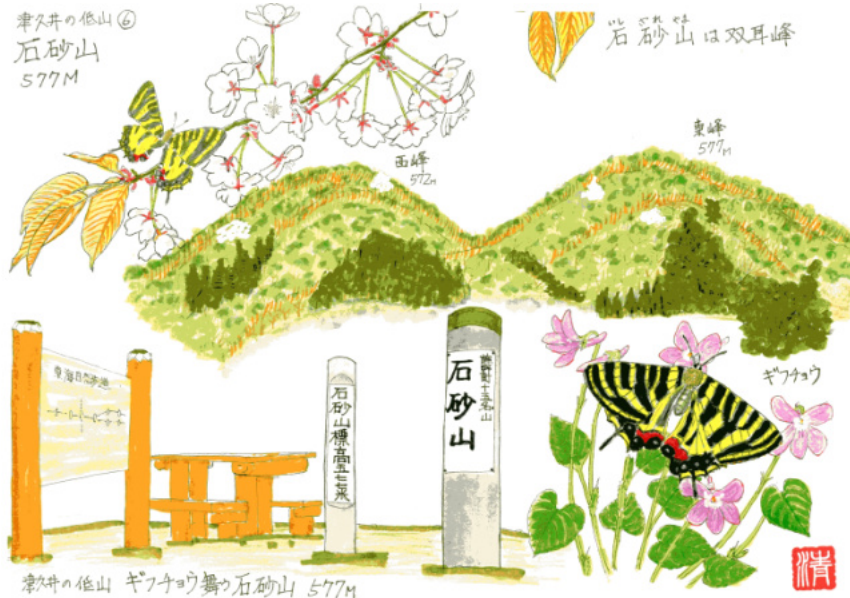
の健康や精神に深刻な負荷を与えていることも見てとれます。睡眠時間が5時間未満だったのは、調査全体の8%に対し、介護時間が「ほとんど終日」で16%、「半日程度」では19%に上りました。

利用負担も重く

1ヶ月の介護費用の平均は、要介護度が上がるほど高くなり、要介護1・2の2万円台が要介護3で4万6千円、要介護4で5万7千円、要介護5では7万5千円になります。介護保険の利用者負担は原則1割で、自公政権の連続改悪で一定所得以上には2・3割負担が導入されてきました。利用料が払える範囲でしかサービスを利用しない「利用控え」が問題になっていますが、調査対象になっていません。

家族頼みの制度の欠陥

「老老介護」調査のたびに深刻化するの、介護保険制度が家族がいることを前提に設計されているからです。利用者負担を廃止し、利用者の実態に見合った給付を保障するなど、制度の抜本的改革が必要です。



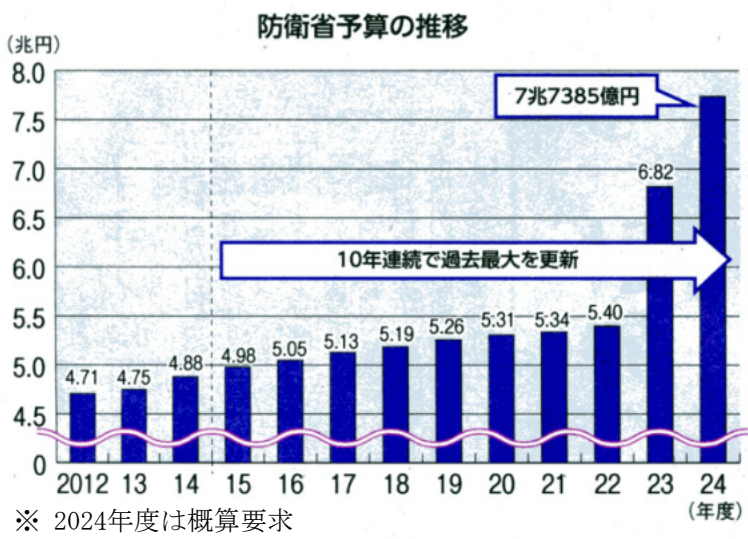
津久井の低山⑥ 石砂山

石砂山は牧野地区にあり、石老山と道志川の間にあり、高さ五七二Mの東峰と五七二M

の西峰から成る、東海自然歩道上のコー
スにある双耳峰です。何の変哲も無い低
山ですが、ギフチョウの最も東に生育す
る山という事で、広く知られるようにな
りました。

ギフチョウはかつて丹沢から多摩丘陵
から高尾山あたりまで生育していた蝶で
したが、現在、石砂山が分布の東限となっ
ている貴重な存在です。

早春、桜の花の咲く頃、成虫は出現し、
サクラやスマレやカタクリなどの花の蜜
を吸いにそれらの花に訪れます。天気
の良い日は日当たりの良い地面で翅を広げ
て日光浴をしています。その頃は「春の
女神」と云われ、春しか見られないこの
蝶に会いに多くの人が訪れます。石砂山
への登り口は篠原・牧馬峠・伏馬田など
から行けます。篠原には駐車場もありま
す。



軍事費 過去最大7.7兆円
予算案の概算要求 対米公約を最優先
 防衛省は2024年度の概算要求で、過
 去最大だった23年度予算を9166億円上
 回る7兆7385億円を盛り込みました。
 物価高騰に直面する市民生活を後回しにし、
 対米公約を最優先した大軍拡です。(9/1
 付「しんぶん赤旗」より)